



初稽古 剣道を楽しんで

1/14 堀金少年剣道クラブ初稽古

本年、創立 60 周年を迎える堀金少年剣道クラブで、恒例の初稽古が 1 月 14 日、堀金総合体育館で行われました。当日は、クラブに所属する市内の保育園から中学生までの子どもたち 19 人が参加。冒頭、指導者の藤原光弘さんは「楽しく、格好の良い剣道を生涯続けてほしい」とあいさつしました。その後、子どもたちは元気に声を上げながら素振りをしたり、互いに打ち込んだりしました。キャプテンの久保仁葵くん（穂高北小 6 年）は「初稽古は楽しくできました。中学でも剣道を続けて、試合でよい成績を残したいです」と目標を話しました。



食品ロスを減らし生活支援

12/17 安曇野フードドライブ

各家庭で余っている缶詰めなどの食品を寄付し、福祉施設や生活困窮者などに提供する「安曇野フードドライブ」（実行員会主催）が 12 月 17 日、18 日の 2 日間、市役所で開催されました。実行委員長の桜井洋子さん（三郷明盛）は「食品ロスを減らし、人助けにつながるこの活動を知ってほしい」と話しました。この日集まった食品約 1,599 点は、支援団体を通じ、県内の生活に困っている人に届けられます。

防火・防災への決意新たに

1/8 市消防団出初式

恒例の市消防団出初式が 1 月 8 日、豊科公民館ホールを主会場に開かれました。

当日は、式典に先立ち、分列行進が防災広場から豊科公民館までの間約 1.1km で行われました。途中、市役所前で宮澤市長や、沿道に集まった市民も見守る中、音楽喇叭隊の行進曲に合わせて団員と、団と松本広域消防局の車両計 21 台が行進を披露しました。

式典では、無火災表彰や功績のあった団員への表彰、退団者表彰が行われました。鳥羽昌弘団長は式辞の中で「予防消防に徹し、地域防災の重要性を市民に広めていきたい」と述べ、参加した約 460 人の団員と共に年頭にあたり防火・防災への決意を新たにしました。



人権の大切さを考える

12/11 人権のつどい

人権について考え意識を高める機会として「人権のつどい」（市・市教育委員会主催）が 12 月 11 日、豊科公民館大ホールで行われました。当日は、市民など約 350 人が参加。第 1 部では全国中学生人権作文コンテストの松本地区入賞者の表彰式が行われ、安曇野市の受賞者 15 人を代表して 3 人がそれぞれ作文を発表しました。

第 2 部の講演会では、平成 6 年 6 月に発生した「松本サリン事件」の第一通報者である河野義行さんが「報道と人権」と題し講演しました。河野さんは、裏付けのない報道が重なって容疑者扱いされ、自身の人権侵害につながったと説明。事件報道の速報性を求める世論や報道機関の姿勢に警鐘を鳴らし、「真実は後で判明するもの。その時の情報のみを信じ、人権を侵すようなことがあってはならない」と会場に呼び掛けました。



無病息災を願い、大みそかの三九郎

12/31 塚原区市上地区三九郎

穂高地域の塚原区市上地区の三九郎が 12 月 31 日に行われました。当日は、ワラを重ねたやぐらから、天高く火が燃え上がり、集まった地区の住民約 30 人は、1 年間の無事に感謝するとともに、新年の無病息災を願いました。三九郎は、小正月に行われることが多い行事ですが、市上地区では古くから伝わる風習を重んじ、毎年、大みそかに行われています。参加した奥原悠太くん（穂高西小 4 年）は、「火が高く燃え上がり迫力がありました。新年も健康で過ごしたいです」と話してくれました。



でき立ての餅を味わう

12/17 南穂高児童館餅つき会

親子を対象とした餅つき会が 12 月 17 日、豊科南穂高の南穂高児童館前庭で行われました。この日は親子連れや地区の民生児童委員など約 100 人が参加。昔ながらのきねと臼を使い元気な掛け声をかけながら、参加者は交代で餅つきをした後、でき立ての餅をお雑煮で味わいました。参加した赤澤喜楓くん（豊科南穂高）は「大きなきねでお餅をつくのが楽しかったです。お雑煮はとてもおいしいです」と話してくれました。